



## 筑波大学メールマガジン“ペデじゃーなる” 2012年冬号

—OB・OGと学生を結びながら、懐かしさと新しさ香る筑波の風を季節の便りとしてお届けしていきます。

### INDEX

- 1 今昔ペデ南下旅  
— 亀ちゃんが、ペデ沿いの景色をお届けするシリーズ！今回は見どころ満載 2学&3学エリアです。
- 2 つくば名店レポート  
— 筑波大生に親しまれているつくばの名店をレポートしてまいりました！
- 3 ゆるっと、つくば～癒され手帖～  
— ゆるっと連載第三弾！今回は大学を飛び出して癒されてきました。
- 4 留学生生活1年目  
— 留学生から見た筑波大学…素敵な所だけど「中」に入れている気がしない…？
- 5 宿舎のセキュリティーシステム検証日記  
— 筑波大学の宿舎には怪し～い噂が！？そんな噂の1つを検証してみました。
- 6 全国大学ラグビー選手権の観戦  
— 国立大学として初めてラグビー全国4強の1つとなった筑波大。準決勝から感じたこととは…？
- 7 ペデあぶろーど  
— ペデじゃーなる編集員による海外レポート！第一弾はロンドンです。
- 8 対談 芸術専門学群 蓮見孝先生  
— 今年度で筑波大学を去ってしまう蓮見先生…筑波大学を先生はどのように見つめていたのでしょうか？

## ◎ 1 今昔ペデ南下旅



3 学期のとあるお昼時。久しぶりに顔を出した太陽がとても暖かく感じます。

今回やってきたのは 2・3 学エリア。たくさんの自転車が所狭しと駐輪場に並んでいる、筑波大生にとってはお馴染みの光景が見られます。読者の方の多くもここで授業を受けたでしょうか。



今、2B 棟と 3A 棟には「粉クリ」という愛称で親しまれるパン屋「粉とクリーム」があります。お昼時には学生が行列を作り、休み時間にも学生や教員が立ち寄ってそれぞれ好みのパンを探しています。菓子パンだけでなくおかずパンも充実していて、パン好きの私にはたまらないお店です。焼き立てパンのいい匂いに誘われて、ついつい足を運んでしまいます。粉クリに負けず劣らず、2 学食堂、通称 2 食も毎日大盛況です。学食は 3 食が美味しいと評判ですが、2 学民はやはり 2 食が好きな模様。こんなに広い食堂も毎日満席です。私も席を確保するのにいつも一苦労しています。

こんなポカポカした日には、外に出てお昼を食べるのもアリですね。図書館近くの芝生には「芝充」と呼ばれる人たちが。私もつい最近知ったのですが、この芝生の上であれば芝充になれるそうです。お昼を食べたり友達と話したり、昼寝をしてもそれはみんな



な芝充なんだそう。芝生でポカポカ陽気に包まれていれば誰でも芝充になれます。もしかしたら皆さんの中にも「芝充」を経験した方がいるかもしれませんね。私も今度、芝充になってみようかな。

2・3 学間を流れる川（？）、通称「天の川」は、女子が多い 2 学と男子が多い 3 学の間にあることからその名がついたとか。皆さんの頃からこの名前があったと聞きました。この「天の川」のように「芝充」も語り継がれていくのでしょうか。楽しみです。今回は 2 学をメインに歩きましたが、2 学民の私としては未知の世界、天の川の向こう側にも行ってみたいですね。

（人文・文化学群 日本語・日本文化学類 亀川かすみ）

## 🍷 2 つくば名店レポート



学生の街つくば、そこには学生向けの「デカ盛り」メニューなるものが多数存在します。筑波大学には体育専門学群（以下体専）があるので連日「デカ盛り」店は大賑わいらしいです。つくばデカ盛り三大店の一つで、春日 4 丁目にある「Ran Ran」は特に量飯店である…。僕の体専の友達がそう言っていたので、2 人で出向いてきました。

「Ran Ran」は今なお筑波大生に愛され続けているお店です。券売制でお店も広め。カウンター席もあり、一人で来る人も多いようです。客層はやはり男性が圧倒的多数。

この日のために僕は朝食、昼食、前日の夕食も食べませんでした。さて、僕が選んだメニューは、その名も「Big 丼」（¥760）。…デカそうな名前ですね。他にも「唐揚げ Big 丼」「肉野菜丼」など豊富な品揃え。待つこと 15 分、Big 丼が遂に僕の目の前に姿を現しました。それはもうデカいですね。ご飯の上に野菜炒め、もやしのナムル、卵焼き、麻婆豆腐があり、その上に大盛

りの豚肉、唐揚げ 2 個がのっています。しかも味噌汁まで。

箸を手に取り食べてみると、とってもおいしい。上のトッピングはアツアツの作りたてで、味つけは濃い目。個人的には麻婆豆腐がちょっと辛めでした。これは全部食べきれる!と箸をすすめて 20 分、半分くらい食べ終えたところで苦しくなってきました…しかしまだいける!!更に 20 分、残り 4 分の 1 まで食しま



Big 丼

した。味が濃い…もう限界…しかし残すのはもったいない…葛藤しながら細々と箸を進めること 30 分、遂に無事完食!!店を出るときは歩くこともままならないくらい満腹でした。この量でこの値段は学生にとって嬉しいですね。実はこのお店、食べきれない人のために残りをお持ち帰りさせてくれるそうです。やっぱり残す人も多いのかな…いずれにせよ無駄がなくて親切ですね!

この学生街ならではの一品、お世話になったことのある方も多いのでは?また、僕のように苦しんだ方も結構いらっしゃるのではないのでしょうか?これもまた、筑波大学近辺ならではのですね!

(人文・文化学群 日本語・日本文化学類 馬場一将)

### 3 留学生生活 1 年目



筑波大学に来てから、もう 1 年間です。最初、私は筑波大学にあまり詳しくありませんでしたが、この 1 年間を経て、だんだん分かるようになってきました。筑波大学に対して自分が気になっているところがあります。例えば、この大学は 1 年間に 3 つの学期に分けられるとか、昼休みは 45 分しかないこととか、

たまに学生が食堂の前で何かを演技することとか、私にとって珍しいことです。

それと、今年に中央図書館の耐震工事が終わり5階、1階と新館を利用できるようになってから、昨年より図書館に来る学生が多くなったと感じます。宿舎の周りに暮らしている野良猫が筑波大生のおかげで、すごく元気で生きていますと感じます。私はたった一年間でも、筑波大学でこんなことをいっぱい感じました。なので、これからも、こんな優しく、元気な筑波大学で勉強していきたいです。

ただし、私は筑波大学の「中」に入っていない気がします。ずっと「外」の人間として、暮らしていると感じます。私は、研究生の一年間に学類生の授業を受けたが、筑波大生と知り合いになる機会がなかったです。向こうの両親と友達によく日本人学生の友達ができたかと聞かれていました。私はいつもまだと答えました。私と同じ留学生の研究生8名に、筑波大生との接点がありますかと聞いたが、みんなが自分のチューター以外に接点がないと答えてくれました。しかし、筑波大学に来てよかったかと聞いたとき、みんながはいと答えてくれました。研究生のみんなは筑波大学の学習雰囲気が強いていると感じています。例えば、バスに乗っている時に本を読んでいる姿とキャンパスでロボットの実験をやっている姿がよく見られます。みんなと話していると、筑波大学が好きな気持ちと、筑波大生と友達になりたい気持ちが身をもって分かります。これからの筑波大学生活の中でたくさん筑波大生と友達になれるように期待しています。

でも逆に、筑波大生は留学生のことをどう思っているかと知りたいですね。

(人間総合科学研究科 教育学専攻 于 淼)

## ◎4 ゆるっとつくば～癒され手帖～

こんにちは、ゆるっと、冬号です。ねえ、続くもんですね。つくばにも、ようやく冬がやって来ました。私は、もともと、朝に弱いです。冬なんか、特につらいです。かといって、夜も、空気が凍って、頬っぺに刺さる、ああ、生きにくい、世の中だなあ。でも、つくばの夜は、この寒い季節、なんでだろう、思いのほか、気合が入っていて、好きです。



まだ、まだ、冬は、終わりそうにないけど、こんな景色が見れるなら、ちょっとは我慢してやっても、いいかもしれません。癒されちゃう、けど、頬っぺに、冷たい空気が、刺さるよ。皆さん、風邪には気を付けて。ご自愛下さいますように。さむ。

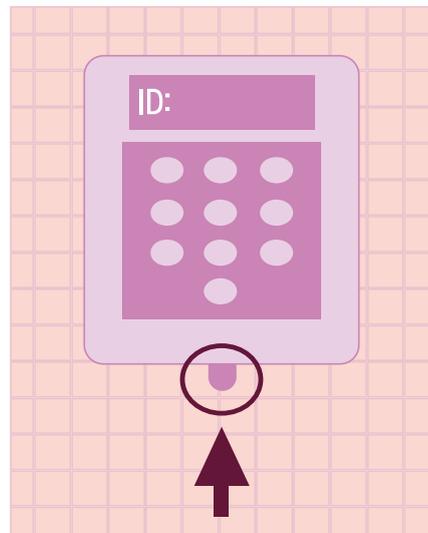
(人文・文化学群 日本語・日本文化学類 小林加奈)

- 1)つくば駅前、ペデにて。イルミネーションの並木道。
- 2)エキスポセンター、プラネタリウム、外観から、もう素敵。
- 3)クレオスクエア、期間限定の、メリーゴーランド。
- 4)中央公園、芝生の上。

## 5 宿舎のセキュリティーシステム検証日記



みなさんは現在の宿舎のセキュリティー事情についてご存知ですか？ 元々平成17年度の夏から一部の棟で試験的に実施されていた静脈認証システムは18年度に終わりました。現在はイラストにあるようなセキュリティーシステムにIDとパスワードを入力し、最後に指でタッチ（コンピュータでいうところの『実行』）すると認証されるようになっていました。そしてこのシステムについて私にはずっとずっと気になっていたことがあります。それは、これが何を感知して作動しているのかがよくわからないということです。指でタッチが基本ですが、同じ哺乳類である猫でもいけそうな気がするし、おにぎりでも認識されるという噂を聞いたことがあります。ということで検証してみました！



丸で囲んだ小さな凸の部分で認証します

まずはおにぎりよりも人間に近いであろう猫です。今回は私の友達である野良猫に手伝ってもらいました。友達を抱っこして、前足の甲でタッチ！ 結構自信はありました。が、しかし、何度挑戦しても認識されません。次第に友達が呆れた表情を浮かべ始めました。私は焦っていました。こんなんじゃ記事にならないかも、今からまた新しいネタ考えなきゃいけないの～？

私はおにぎりに望みを託しました。おにぎりでも認識なんてかなり疑わしいですが、やるしかない。温度の点で猫と差をつけるためにあえて冷めたままです。その一角を使って運命のタッチ！・・・やりました、認識されました！（※）疑ってごめんね、そしてありがとう、おにぎり。

この結果から、宿舎のセキュリティーシステムの認証には、温度ではなく質感の方が重要だということがわかりました。となると、猫の足の甲ではなく肉球でタッチしていたら結果は違っていたかもしれませぬね。でも、できなかつたんです。少し言い訳させてください。イラストを見ればわかりますが、このシステムでは下から上にタッチするようになっています。そのためには肉球を上に向けなければならないのですが、猫の関節はそんなに柔らかくないこと、飼育経験のないそのあなたにだって想像できるでしょ？ かといって私の大事な友達を逆さまに抱っこするなんてこともできなかつたんです。それは、もしそうした場合、このメルマガを読んだ猫愛好家たちからの批判が殺到するのではないかという恐怖よりも、こんなことで今まで築き上げてきた私たちの友情を壊したくないという強い気持ちのためでした。

そんなこんなで謎は一つ残されたままですが、私の検証は一旦終了します。ここまで付き合ってくれたみなさん、どうもありがとうございました。大活躍してくれたおにぎりの一角は猫がおいしく食べ、残りは私がおいしく食べました。おにぎりは余すところなく全てをおいしく食べてもらえました。猫、私、おにぎり、みんなが幸せになった、ある寒い冬の昼下がりでした。

(人文・文化学群 日本語・日本文化学類 河原一愛)

※注

おにぎりの他に ID とパスワードが必要です。

## 🍷 6 全国大学ラグビー選手権の観戦

1月8日に閉幕した全国大学ラグビー選手権は、観客動員数が大幅に落ちこむ結果となった。伝統校である慶大、早大、明大が早々に敗退したからだという。今大会の優勝校は帝京大で、3

連覇を飾った。

その伝統校を3校とも破ってみせたのが、今年の筑波大だ。大学選手権で準決勝進出（全国4強）を決め、これが国立大史上初のことだったので大きく取り上げられた。「筑波大が新たな歴史の1ページを切り開いた」と産経。スポーツ報知の「筑波旋風」は、泣きたくなるほどの筑波オロシを思い出させる。

準決勝は、1月2日に国立競技場で行われ、帝京大を相手に3-29で負けを喫した。ほぼ全面的な敗北だった。筑波が取った3点は、帝京側のペナルティによるものだったし、長距離のトライを数回決めた帝京は、これぞラグビーといえる鮮やかな印象を残した。テレビを観戦した多くの学生が残念がっていたように思う。そのなかで、帝京陣への切り込みを魅せた彦坂匡克選手（体専3年）のプレーには、観戦客が一体となって歓声を上げていた。



帝京を取り囲む筑波勢（写真撮影：広報室）

「帝京戦で負けてから実家に帰ったんですが、目標を失ったみたいにもぼーっとしていました」とバックリーダーの内田啓太選手（体専3年）。

「自分らのスタイルで戦えなかった。完

敗です」。筑波大のラグビー部は、少人数

でまとまっているところが他大と違うという。練習や話し合いはチーム全員で行う。OBが練習に参加して、助言を行う慣例も残る。「空いたスペースにボールを運ぶことを徹底するなかで、接戦をモノにできるようになった。今シーズン、チームが成長した部分だと思います」。彼が「泥臭い」と表現する接戦での粘り強さが、筑波大のスタイルだ。しかし帝京戦では封じ込まれたと言っている。

精神的につらい時期が続いたが、チームはすでに気概を取り戻している。来シーズンの目標を内田選手に聞いた。「もちろん日本一です。チームのみんなで話し合ったとき、1秒2秒で決まりました」。しかし心配は残る。「3年次のなかで、叱る役目を持つ人が少ないと思います」。また、タックルの練習など怪我と隣り合わせの練習も多い。「毎日の練習のなかで、どうしても体が動かない瞬間があったり、雰囲気落ち込むときがある。そういうときこそ絶対に妥協したくないんです」。来シーズンは、帝京戦で悔し涙を流したメンバーが多く残る。ラグビー部はすでにスタートを切った。

(人間学群 教育学類 山田航平)

## 関連記事

筑波大学運動部のポータルサイト つくばスポーツオンライン  
**TSUKUBA SPORTS ONLINE**

[TSUKUBA SPORTS ONLINE](#) でその他のフォトや、インタビュー形式のコラムをご覧ください。

⇒ [『主将の挨拶』、筑波大学ラグビー部公式ホームページ](#)

## 🌸7 ペデあぶろーど



今回から始まった『ペデあぶろーど』。研修や旅行で海外に行ったペデジャーなる編集員がそこで見聞きしたこと、経験したことについてレポートします。

さてさて、第一弾の今回は、オリンピックに向けて盛り上がっているイギリス。2011年12月23日～30日というクリスマス真只中、友人と2人で観光旅行に行っていました。今号では友人とロンドンで過ごしたクリスマスの1日をお届けします！

クリスマスからお正月に年末商戦の標的を切り替える日本とは

裏腹に、イギリスでは12月25日のクリスマス本番は静かに過ぎようです。お店や観光名所も軒並みお休みのようなので、とりあえずのんびりハイドパークをお散歩。うわあ…リスがいっぱいいる！と餌をあげたら指ごと噛まれました。痛い…。ハイドパーク内のクリスマスマーケットもこの日はお休みです。『クリスマスマーケット開催中！（25日は除く）』というカッコ内の小さな注意書きが悲しすぎます…。クリスマスなのに…。ハイドパークを抜けて街中に出るも、やっぱりどこもかしこもお休み。今日は何も出来ないねーなんて言いながらパブで遅めのお昼を食べ、帰ろうかという矢先、重大なことに気付いてしまいました。なんと！地下鉄がほぼ全休業！しかも大通りも封鎖！？うわあああ！もう真っ暗だしどうしよう…！結局、仕方ないねとキラキライルミネーションを見ながら街中を通り、てくてくホテルへ帰ります。それにしてもどの飾りも凝っていて綺麗！歩いて逆に良かったかも…？

ホテルに着いたらお待ちかねのクリスマスディナー！ベーシックにローストターキー&プディングにしてみました。ターキーは肉も付け合わせもてんこ盛り！量の多さには毎回びっくりです。プディングはとにかく香辛料が強い！友人は美味しくいただきましたようですが私にとっては…うーん、不思議な味…。

クリスマスの1日を最後まで楽しみ、大満足で部屋に戻ると自然と眠気が…昼間買ったサンタ帽をかぶったまま、いつの間にか夢の世界へと旅立っていました。何度思い返しても楽しくなれる、そんな2011年のクリスマスでした。



いかがでしたか？つくばとはちょっと違った海外の風を少しでも感じていただけたら幸いです。次回は誰がどこからどんな風を吹き込んでくれるでしょうか…お楽しみに！

(人文・文化学群 日本語・日本文化学類 野川佳奈代)

- 
- 1) ハイドパークのリス
  - 2) トラファルガー広場のクリスマスツリー
  - 3) クリスマスディナーのローストターキー
  - 4) デザートのクリスマスプディング

## 8 対談 芸術専門学群 蓮見孝先生

1991年に筑波大学に赴任して以来、その穏やかな笑顔とお茶目さで芸術専門学群の学生に限らず多くの筑波大生に愛されている蓮見先生。来年度から札幌市立大学でご活躍されます。その前に！蓮見先生が見てきた筑波大学の20年間、学生への思いを直接お聞きしてきました。

### ● 蓮見先生と造形論

—「今回で造形論が最後ということですが、第一回目の授業を終えて、感想をお願いします。」



蓮見孝教授

蓮見「14年間同じ授業をやってきて、クラスの雰囲気は毎年違うんですね。だから同じような話してるんだけど、かなり気分が違うんですね。で、僕は前から言ってるんですけど、すごく論理的でまじめな自分と、すごく感性的でおちゃめな自分が一つの人格の中に同居していて、なんとなくお茶目な自分のほうが神秘的な気がする（笑）それで、制度的に先生というものがまじめでないといけないということがあるんだけど、やっぱり大事なことは学生と心を通わすことだと思うので、お茶目な自分を出したいなと思っているんですけど・・・けっこう難しいんですね。で、どういう時にお茶目な自分が出てくるかというと、聞いている学生たちがお茶目な顔をして聞いてくれると（笑）するところ、合いの手っていうか、呼応するっていうか、お茶目な自分を出すことができる。そういう意味では第一回って、すごく大事。今日は、学生たちがすごくリラックスして聞いてくれる気がして嬉しかったなあ。割と今まで学

生がとってもクールだった時代もあるし、なんか変な言い方だけど、疑問視して授業を聞いているようなときもあったけど、去年も今年も、割と授業をエンターテインメント的に聞いてくれているのがうれしいな。」

## ● ふいご祭

蓮見「先生が学生に教えるって言うんじゃないくて、先輩が後輩に支援して教えてくれるって、とても役立つんじゃないかなと思うんだよね。それであの、デザイン専攻では、年に一度先輩と後輩が集まって「ふいご祭（まつり）」っていうのをやるんですけど。」

— 「へえ～。ふいご祭ですか。」

蓮見「ええ。ふいご祭って、いろりの神様っていうか、炉の神様に祈りを捧げる安全供養なんですけど、加治屋さんとか、火を扱う職業の人が。ふいごって風を送る装置なんですけど。」

— 「あ。ああ！はい。」

蓮見「うんうん。火の温度を高めるために使う装置で、やけどしたりしないように祈るんですよ。その日はいろんな世代の先輩たちがいっぱい集まってきて、今年も・・・何人来たっけ？60人とか来ましたね。それで先輩と後輩が打ち解けあって、いろいろ交流するっていうことがあるんですけど、そういうことがとっても大事だなって思うんですよね。」

— 「素敵ですね」

蓮見「うん。大学って、ある意味、大学的な制度に縛られていて、病院ととても似ているんだけど、先生っていう教える立場の人と学生っていう教えられる立場の人が対峙している、向き合っている構造ですよ。教えられる人は、2年生は2年生1年生は1年生っていう割と横のラインでお友達がいるんだけど、縦ではいないでしょ。あんまりね。」

— 「そうですねえ。」

蓮見 「いつも同じ年の人が交流してるっていう構造があるんですよね。社会には様々な年齢、様々な国籍っていうか地方からきた人、生い立ちの人がいて、それでおじいさんもおばあさんも赤ちゃんも同じ町の中で暮らしあっていますよね。それが混ざり合ってミックスされているのが普通の社会なのに、学校だけがこう、ずーっと同い年の人が、そのまんまずっと関係が続いていくっていうことがあるんです。僕はそれが悪いことではないと思うんですけど、それだけだとすごく歪んだ社会になっちゃう。(中略) 大学には大学っていう一つの縛られたコンテクストがあればいいのではなくて、様々な多様なコンテクストが共存していたほうがいいんだらうなって、思いますよね。」

### ● 女子学生が平手打ち！？

— 「筑波大学に長くいらっしゃる中で、この卒業生は忘れられないとか、あのできごとは忘れられないとかってありますか？」

蓮見 「難しいですね。やっぱり、走馬灯のようにいろんな学生のことの思い出されるけど。・・・僕を平手打ちにしようとした女子学生とか？」

— 蓮見、関崎 「(笑) ええ～！？」

蓮見 「いますよ。1年生の一学期に。すごく彼女は真剣だったと思うんだよね。それに対して僕はすごく軽くお茶目なことをしたから、それが琴線に触れて、それでパシっとう手が来たので(手を構えて)・・・僕はこう、ほっぺたを出したの。」

蓮見、関崎 (笑)

蓮見 「そしたら、ピッと止まって、仲良くなったの。」

— 「へえ～！！(笑)」

蓮見「なんか、不思議な信頼関係みたいなのがあったのかな。」

## ● 蓮見先生から OB・OG のみなさんへ

— 「OB・OG の方に何かメッセージはありますか。」

蓮見「僕は43歳のとき大学に来たんですけど、僕の母校なんだよね、この筑波大学。学校の名前は変わったけど、基本的には母校だよね。他の大学を勤めた経験はないんですけど・・・これから経験するんですけど。多分、母校に戻れるっていうめったにない幸運だと思う。自分の母校に奉職して、母校で教えるってことは、後輩を教えるってことになっているんですよ。その、特別な想いってのはやっぱりあるよね。その素晴らしさっていうのは、先生である僕らだけじゃなくて、先輩もシェアしてほしいって気がするんだよね。」

まだまだたくさん素敵なお話をしてくださったのですが、載せきれないのが残念です。蓮見先生、ご協力ありがとうございました。

(人文・文化学群 日本語・日本文化学類 関崎美久)

---

略歴 筑波大学 芸術系 蓮見孝(はすみたかし)教授

1971年 東京教育大学教育学部芸術学科工芸・工業デザイン専攻卒業

同年 日産自動車株式会社造形部入社

1991年 筑波大学赴任

2012年 札幌市立大学理事長・学長就任予定

編集後記

筑波おろし吹き付けるつくばから、ペデじゃーなる冬号のお  
届けです！早いものでもう第三弾…これも読者の皆様のお  
かけです。本当にありがとうございます。また！なっただ冬号、いかで  
さしてか？各記事から学生ならではこの線や感覚を感取って  
いただければ幸いです。今年度はこれが最後の配信となりま  
すが、来年度からもいたします。パワーアップするペデじゃー  
るをよろしく願いたします。

編集・発行

「ペデじゃーなる」編集ワーキンググループ



デザイン・配信作業

人文・文化学群 日本語・日本文化学類 関崎美久  
情報学群 情報メディア創成学類 酒井佑弥

ご意見・問い合わせ先

国立大学法人筑波大学総務部総務課（卒業生ネットワーク）  
〒305-8577 茨城県つくば市天王台1-1-1

TEL 029-853-2030 FAX 029-853-6019

[gakuyu@un.tsukuba.ac.jp](mailto:gakuyu@un.tsukuba.ac.jp)

配信停止をご希望の方

下記メールアドレス宛に『配信停止希望』の旨明記し、送  
信してください。

[gakuyu@un.tsukuba.ac.jp](mailto:gakuyu@un.tsukuba.ac.jp)

---

メールマガジンの一部または全部を無断転載することを禁止します。  
Copyright (C) 2012 University of Tsukuba. All Rights Reserved.

---